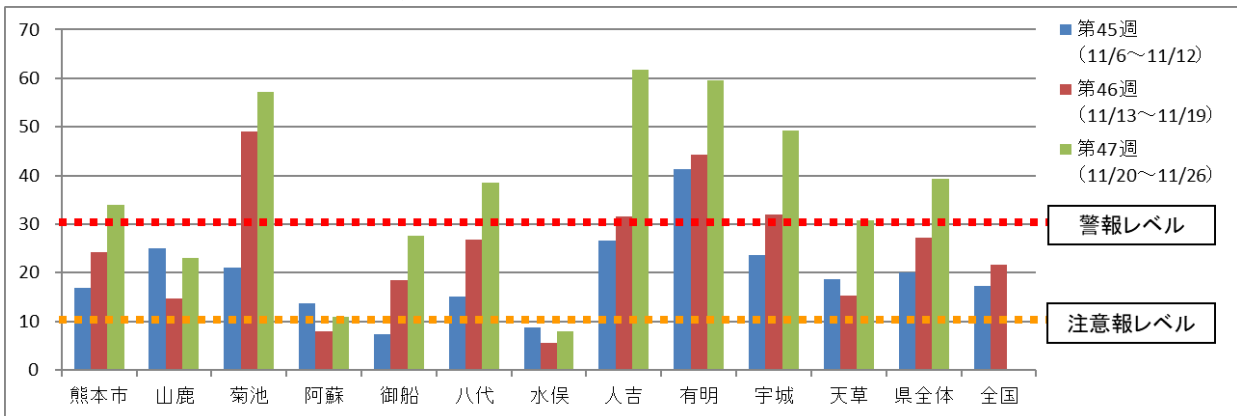


インフルエンザ患者報告数が、警報レベルを超えました ～医薬品も不足していますので、感染拡大防止に努めましょう～

- 令和5年第47週（11月20日～11月26日）の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの一定点当たりの患者報告数（※）は、39.23（定点数80か所、報告数3,138）となり、警報の基準値（一定点当たり30）を超えました。統計が残る2003年以降、2009～2010シーズンと並び、過去最速となっています。保健所別では人吉（一定点当たり61.80）、有明（同59.63）、菊池（同57.13）の順に高くなっています。
- インフルエンザ、咽頭結膜熱等の感染症の流行に伴い、インフルエンザ等の検査キット、小児等に使用される抗インフルエンザ薬（タミフル®ドライシロップなど）、咳止め等の需要が増加しており、これらの医薬品が不足しています。
- 国においてこうした医薬品の増産等の対応を行っていますが、安定的に供給されるまで一定期間を要するため、医療機関、薬局において代替する医薬品に変更するなどの対応を行っているところです。
- ご自身やまわりの大切な方を守るためにも、皆様お一人お一人が、より一層の強い意識を持って感染防止対策を行っていただくようお願いいたします。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※ 一定点当たりの患者報告数とは、1週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された県内80医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数（熊本県は80）で割った値です。

＜一定点当たりの患者報告数＞



※ 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は第46週分までとなっています。

＜保健所別一定点当たりの患者報告数＞ 網掛け：警報レベル 網掛け：注意報レベル

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第45週 (11/6~11/12)	16.88	25.00	21.13	13.67	7.40	15.14	8.67	26.60	41.38	23.67	18.71	20.16	17.35
第46週 (11/13~11/19)	24.24	14.67	49.13	8.00	18.40	26.86	5.67	31.60	44.38	32.00	15.29	27.20	21.66
第47週 (11/20~11/26)	34.00	23.00	57.13	11.00	27.60	38.57	8.00	61.80	59.63	49.33	30.71	39.23	

参考 厚生労働省ホームページ「インフルエンザ（総合ページ）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html
 熊本県ホームページ「今シーズンのインフルエンザ対策に取り組みましょう（2023-2024シーズン）」
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/153141.html>

(裏面あり)

連絡先	健康危機管理課 感染症対策第二班 担当：大和、槐島 電話：096-333-2240（直通）（内線33154）
	薬務衛生課 監視麻薬班 担当：八尋 電話：096-333-2242（直通）（内線34147）

【全国のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和5年（2023年）第46週（11月13日～11月19日）の一定点当たりの患者報告数は「21.66」となっています。
※全国の流行状況の情報還元時間に時間差があるため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに検出されたウイルスはA（H3）型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型及びD型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。
- ⑤ 医師に相談のうえ、ワクチン接種を検討する。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。
 - ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
 - ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
 - ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	流行入りした週 （※1）	注意報レベルに達した週 （※2）	警報レベルに達した週 （※3）	シーズン中、最も報告が多かった週
2023～2024 今シーズン	令和5年第36週 (R5.9.4～9.10)	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	令和5年第47週 (R5.11.20～11.26)	—
2022～2023	令和4年第50週 (R4.12.12～12.18)	令和5年第5週 (R5.1.30～2.5)	—	令和5年第6週 (R5.2.6～2.12)
2021～2022 及び 2020～2021 は流行入りなし				
2019～2020	令和元年第43週 (R1.10.21～10.27)	令和元年第49週 (R1.12.2～12.8)	—	令和元年第52週 (R1.12.23～12.29)
2018～2019	平成30年第49週 (H30.12.3～12.9)	平成30年第51週 (H30.12.17～12.23)	平成31年第2週 (H31.1.7～1.13)	平成31年第2週 (H31.1.7～1.13)

- 【国が定める基準】**
- ※1 流行入り ・ ・ 定点当たりの患者報告数 1
 - ※2 注意報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 10
 - ※3 警報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 30